

北九州市産業振興未来戦略

(令和6年3月策定)



令和7年4月17日
北九州市産業経済局

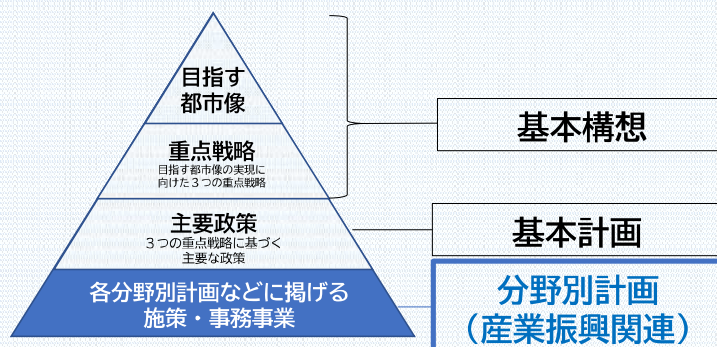
1

1

戦略の位置づけ

今後のまちづくりの方向性を示す北九州市基本構想・基本計画では、経済成長を最優先課題に位置付けており、10年以内に市内総生産「4兆円」を目指すこととしています。

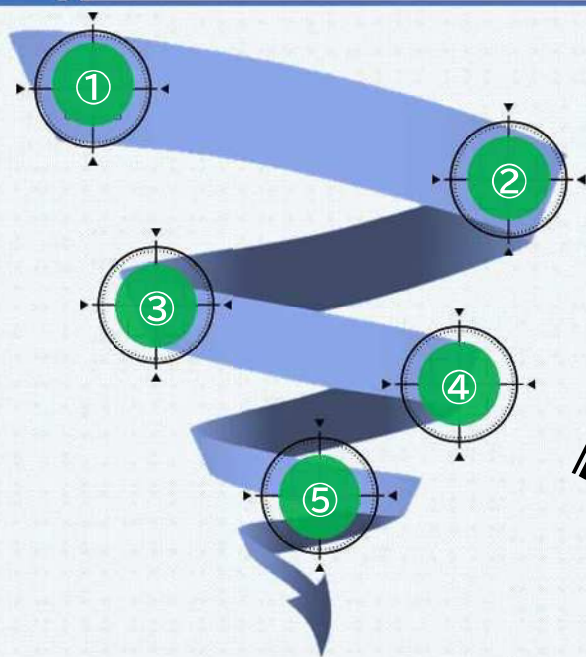
本戦略は「稼げるまち」の実現に向けた具体的な道しるべ（指針）であるとともに、北九州市基本構想・基本計画の分野別計画という位置づけになります。



【計画期間】

5年間（2024年度～2028年度（令和6年度～10年度））の計画とします。

2

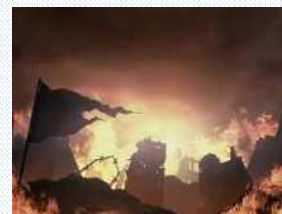


北九州市の経済が停滞した主な要因

- ①人口減少の中での投資停滞
- ②第三次産業の成長停滞
- ③基幹産業である製造業の伸び悩み
- ④産業の新陳代謝停滞
- ⑤若者の人材流出

停滞からの「再起動」に向けて
負のスパイラルをプラスの好循環
に転換させていく

- ①人口減少による国内需要の減少、
労働力不足の深刻化
- ②デジタルテクノロジーの急速な発展
- ③カーボンニュートラル実現に向けた
競争環境の変化
- ④地政学リスクの高まり
- ⑤自然災害の激甚化・頻発化





ポテンシャル



① 豊富な理工系人材



② 北九州学術研究都市（知の集積）



場

ポテンシャル



③ 24時間利用可能な北九州空港



④ 陸・海・空の充実した物流インフラ



⑤ 豊富な工業用水



⑥ 次世代エネルギーの集積



⑦ 災害の少なさ（BCP）



⑧ 低廉なコスト



企業

ポテンシャル



⑨ ものづくり企業の集積



⑩ 環境産業の集積



行政だけでは得られない民間ならではの視点、新しい発想やアイデアを取り入れることを目的に、北九州市未来産業創造会議を設置



<会議の中で多くの方から発言のあったキーワード>

- ・ 目指すべき方向性を明確化
- ・ ポテンシャル(災害リスクの低さ、グリーン、ものづくり技術、学研、空港、物流インフラ)を開花
- ・ 周辺都市との連携
- ・ 掛け合わせ
- ・ 課題解決に活路
- ・ 特区の活用（健康・医療、農業等）
- ・ 高付加価値化
- ・ ブランディング（観光等）
- ・ テック系人材
- ・ 人材育成・確保
- ・ 多様な人材の活躍促進
- ・ 産学官連携

など



3 戦略で目指す姿と方策（体系図）

【スローガン】 **世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」**
～課題解決先進都市への挑戦～

実現のための3つの戦略

【戦略①】
地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
〈稼げる企業に変革する〉

【戦略②】
産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
〈稼げる企業を創出する〉

【戦略③】
「民」が主役の資源活用戦略
〈稼げる企業が活躍する〉

戦略を支える6つの横断的方策

【方策①】
産業基盤のポテンシャル
開花
〈稼げる場づくり〉

【方策②】
学術研究都市の知の活用と
GX・グリーン産業の推進
〈稼げる基盤づくり〉

【方策③】
生産性向上と新しい価値
創造に向けたDX推進等
〈稼げる企業づくり〉

【方策④】
DE&I推進による誰もが
活躍できる環境の整備（※）
〈稼げる人材づくり〉

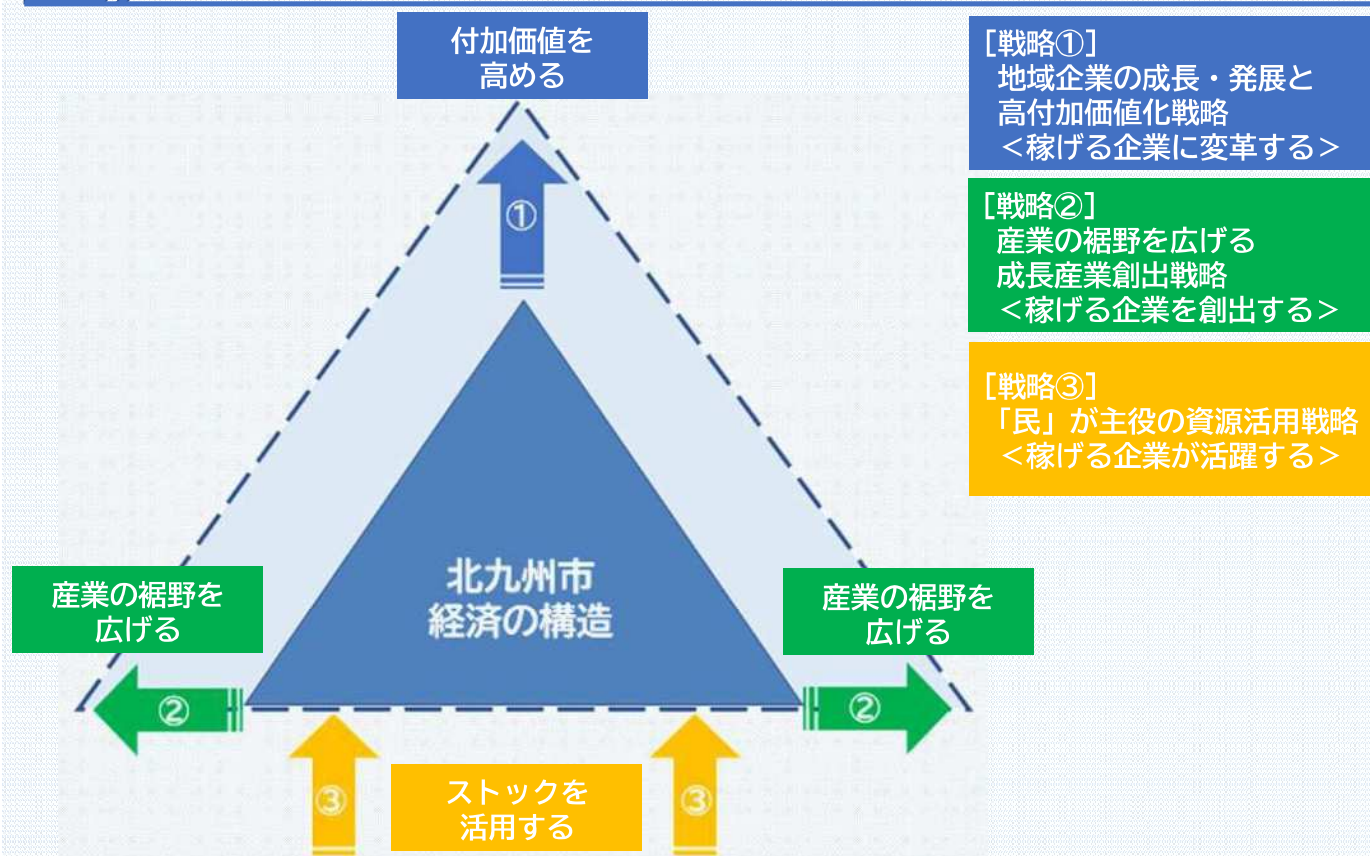
【方策⑤】
アテンションを集める
ブランディング
〈稼げるきっかけづくり〉

【方策⑥】
メガリージョンの構築
〈稼げるエリアづくり〉

※DE&I：多様性(Diversity)・公平性(Equity)・包摂性(Inclusion)を取り入れて公平な機会のもと、多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念

7

3 戦略で目指す姿と方策（経済成長のイメージ）



8